

Honjo Rotary Club weekly report

Rotary International District 2570 Group 4



No.54-12 第2586回 例会2016年10月6日(木)

卓 話

会 長 中島高夫 会長エレクト 渋谷健司
副会長 巴 高志 野田貞之 飯塚明男 幹事 坂本雄一
2016～17年度国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム
第2570地区ガバナー 前嶋修身

進 行：SAA 坂本優蔵 チーフ
国 歌：君が代

点 鐘：12:30 中島高夫 会長
ソング：奉仕の理想

会長の時間

中島高夫 会長

皆さんこんにちは 10月の第一例会にご多用の中ようこそ出席を頂き大変ありがとうございます。10月に入り暑さも和らぎ、朝晩が肌寒く感じられる季節となりました。10月13日(木)には秋の移動例会が親睦活動委員会の担当で行われます。又10月20日(木)移動例会(植樹事業)を地域活性化委員会の担当で植樹がいまい台北公園にて行います。是非多くの会員の皆様のご参加を宜しくお願い致します。



本日の来訪者の紹介をさせて頂きます。国際ロータリー第2570地区ロータリー米山記念奨学部門委員長 忽滑谷明様です。後程卓話を宜しくお願い致します。又派遣奨学生 マレーシア出身のゴーインイさんです。

先月には本年度第1回のゴルフコンペをツインレイクスCCに於いて行われました。今回は取り切り戦ということで、会長杯、幹事杯、シニア杯とそれぞれに権利のある方の戦いがあり、入賞された方はおめでとうございます。

朝のうち、雨の心配もありましたが何とか天候にも恵まれて、ゴルフ日和の一日を送ることができました。夜はふじ井会員の所で親睦を兼ねてゴルフの表彰式と夜間例会を行いました。多くの会員の皆様の出席を頂き誠にありがとうございました。

社会になじむことが難しい若者支援と、言うスピーチがロータリーの友に掲載されていたので紹介をさせて頂きます。臨床心理士 柴田 健教授の話です。

現在「引きこもり」「ニート」と言われている人々がいます。仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6ヵ月以上続けて自宅に引きこもっている状態。これが引きこもりの定義です。15歳から34歳までの非労働力人口のうち、通学しておらず、家事を行っていない若年無業者のことを「ニート」といいます。こうした方々は2010年に内閣府が行った若者の意識に関する調査からの推測値があります。つまり実態の数はわかりません。推測するほかないのです。狭義の意味、引きこもっている状態の方が推測で236万人と言われていました。ちょっと外に出るがほぼ家の中にいる、という方が46万人。

狭義の「引きこもり」と「準引きこもり」を合わせた数で、「引きこもり」者は696万人というのが、内閣府の推測です。言説という言葉があります。これは社会学、哲学の中で使われる言葉です。「言説」は言葉が何らかのやり

方で色々と折り合った結果、生じてくる意味や概念、共有されたときに疑われたりすることのない「前提」と言われるものです。こうした「言説」とは、我々の行動を制限し、ある一定の方向に導くという機能を引き起こします。「言説」には色々あります。

例えば「団塊の世代」という言葉があります。この世代の人はどこかで自分を「団塊の世代」の一員と考えていませんか。そして、この世代の人々は皆、自分と同じ様な、価値規範を持っていると考えたりします。「新人類」という言葉もあります。80年代に使われるようになり、「従来とは異なった感性や価値観、行動規範を持っている」世代として、当時の若者を表す言葉となりました。当時は少なくともあまり良い意味では使われなかったようだ。今の大学生やそれ以上の世代には「ゆとり、ゆとり世代」という言葉もあります。「ゆとり教育」をうけた世代です。「言説」は世代を表すものばかりではありません。当たり前とと思っている多くの事も、実は「言説」にすぎません。あたかもそういったものがずっと前から存在するように「言説」は人を縛ります。いとも簡単に、我々はその中に分類されます。例えば「児童虐待」近來、親子関係が問題として取り上げられるようになったから「児童虐待」は増えたと思われそうですが、そんなことはないのです。言葉が増えれば、我々が今まで見なかったその行為に対してその言葉を当てはめることができるようになります。今まで分類できなかったものを虐待という形で見えるようになってくるのです。統合失調症の治療について、海外ではオープンダイアログという支援が、フィンランドで行われているそうです。その中では患者に関係する重要人物、学校の先生とか企業、会社の人も含め皆で文字通り「開かれた対話、オープンダイアログ」を繰り返し続けるのです。開かれた対話とは診断したり、指示をしたりすることなくひたすら会話を継続し続けることです。このスタイルを今そのまま、日本に導入すれば、おそらく日本の精神医療を変えることができるのでは、とっております。今このオープンダイアログを学ぶという機会が、様々な形で増えています。「ニート」「引きこもり」「児童虐待」がこの社会からなくなればと願っています。

幹事報告

坂本雄一 幹事

- 1、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より
豆辞典(2016~17年度版)
2015年度 決算報告
2015年度 事業報告書が届きました
- 2、ロータリー希望の風奨学金より
風の便りが届きました
- 3、ボーイスカウト埼玉県育成会より
平成28年度維持会費お振込のお礼が届きました
- 4、本庄市保健部介護保険課長より
地域支え合い講演会のご案内が届きました
- 5、Let's!ばらんていあより
ふれ愛祭サポート募集案内が届きました
- 6、ガバナー月信が届きました
- 7、ロータリーの友(10月号が届きました)



10月誕生祝いの会員

滝澤博史 10月2日
巴 高志 10月20日
長崎隆司 10月20日
小杉公良 10月20日
横尾 巧 10月23日



10月結婚祝いの会員



矢島淳一 10月5日 春山茂之 10月6日
神宮つぐよ 10月13日 戸谷清一 10月14日
坂本雄一 10月18日

卓話

忽滑谷明 地区委員長「米山記念奨学部部門委員長」
ゴーイン イさん 「派遣奨学生」



出席率報告

| 会員数 | 出席免除 会員数 | 出席義務 会員数 | 出席 会員数 | 出席率 | 前回出席率の 修正 |
|-----|-------------|-------------|-----------|-------|--------------|
| 73名 | 9名 | 64名 | 35名 | 63.0% | 54.7% |

ニコニコBOX報告

「国際ロータリー第2570地区R米山記念奨学会部門委員長 忽滑谷明様 R米山記念奨学生ゴーイン イさん 卓話宜しくお願いします。」

中島高夫 坂本雄一 茂木 聡 下山正男
春山茂之 渋谷修身 佐藤賀則 金井福則
矢島淳一 岡崎正六 茂木 正 萩原達夫
八木茂幸 内野昭八郎 高柳育行 五十嵐敦子
戸谷清一 中村 孝

米山記念奨学会部門委員長 忽滑谷明様

「米山月間にあたり、卓話の機会をいただきありがとうございます。本日は奨学生共々お世話になりますが、宜しくお願い致します。」

坂田清茂

「皆様のおかげで、第1回ゴルフコンペでバスグロ優勝できありがとうございました。」

池田敦司

「先日のゴルフコンペではお世話になりました。ハンデにめぐまれ準優勝させて頂きました。次回もよろしくお祈り致します。」

笠原 勝

「10月1日に開催いたしました2016チャリティーカラオケ発表会&大会『ふるさと本庄歌謡祭』に後援いただきましてありがとうございました。お陰様で会場には750人の来場者があり大成功でした。チャリティー金9万6570円が集まり市内の2か所の福祉施設に全額寄贈いたします。」

加藤玄静

「人生73年間で初めて検査をしました。中村先生の診断で無罪でした。」

次回プログラム発表

10月13日(木) 第2例会 12:30~
秋の移動例会 東京方面

広報雑誌委員会 山田喜一・岡崎正六・小杉公良・平野 太・藤井 仁

■例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
■事務所 埼玉グランドホテル本庄700号
〒367-0041 本庄市駅南2-2-1
TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄
Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp
ホームページ
<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>